



環境を守る農業宣言

医

食

農

環

自然界の微生物が動・植物の腸や根に栄養を吸収しやすいように分解してくれる。しかし、農・毒薬はその働きを弱める。それが疾病のもとでは・・・(口から肛門までの細菌100兆個を大切に)。

食べ物は、色や味・香(コピー商品)でごまかされてはいけない。肝心なことは、食べ物がノドを越すときに抵抗があってはいけない。人にはそれを見分ける感覚器官の働きがある。それを満たすのが安全・安心で美味しいといわれる食べ物ではなからうか。

生きた土は人を養う。江戸時代に確立された循環型農法を、国や農協の施策で一方通行の農法に変えられてしまった。それが農村の隅々まで浸透し、農村社会は瀕死の重症、それが限界集落である。しかし、その集落が山・水・農地が汚染されていない有機農法に最適なところである、それを粗末にすることはなからう「もったいない」話。

環境問題は深刻。孫子が生存できる地球環境を残すことができるのか疑問を投げかけられている。その責任は、ここ40から50年間に人間が、何かを大きく破壊したためではなからうか。その反省点に立ってやるべきことをやらないと悔いが残る。

物事は有機的に結びついてこそ
平和な社会が出来上がるもの
その原点を成す農業が何よりも
大好きである

宣言者

邑南町・七日市集落協定代表

井上義信

※この枠内は記入しないでください。

宣言第 0711027 号 として受理しました。

島根県知事 溝口 善兵衛

